

cultural management × future

未来へのアイデアを交換する [フューチャーセッション] 開催します。



cultural
management

今回のテーマは「休む」のマネジメント。

日本の有給休暇取得率は約5割、平均取得日数は10日前後でいずれも世界最低レベルです。

個人がもっと自由に「休む」をデザインすることができるようになれば、

文化のために時間を費やしながリフレッシュし、ワークライフバランスも向上させられるのでは。

「休む」ことの効用&「休む」をもっと

増やしていく方策はあるのか？

難しい問題を、

皆で愉しく、

考えてみましょう。



地域社会の創造的な未来のために何ができるか？

多様な視点からアイデアを出し合い、協調的な企画を組み立てていく

公開ワークショップ[フューチャーセッション]を実施します。

予備知識も準備作業も要りません。

自由に参加し、対話に加わってください。(申込不要・無料)

7月25日(金) 18:00-19:30

山口県立大学 3号館5階 C546室

このプログラムは、山口県立大学大学院の授業「文化マネジメント特論[CUMA]」
(各種の文化プロジェクトを成功に導くマネジメント力を理論と実践、両面から学ぶ)
の一環として実施します。

※国際文化科学研究科選択型FD(第129回山口国際文化科学研究会)としてもご参加いただけます。

本企画担当：山口県立大学教授 斉藤理 tel. 083-929-6252

進学して自分の専門性を
深めたいが、仕事との
両立はできるのだろうか
(社会人)

自分のやりたいテーマ
での研究ができる
のだろうか
(社会人)

自分は進学するには
決して若くないが、
大丈夫だろうか
(社会人)

他の大学院と比較した
メリットやデメリットを
知りたい
(学内進学)

個別相談の例



最新情報はこちらから

<https://www.yamaguchi-pu.ac.jp/>



働きながら学ぶしくみがあります

[昼夜開講制] : 昼間の開講と夜間の開講を隔年で入れ替えます。夜間だけでも単位修得可能です。

[長期履修制度] : 授業料総額は標準と同じで、最大で標準の2倍の期間をかけて学べます。

その他、遠隔授業も実施します。



領域を超えて学ぶ機会があります

授業「生命と生活の質特論」では、国際文化学研究科と健康福祉学研究科の院生が合同で多様な視点から学び合います。
合同研究発表会では、両方の研究科の院生の研究成果を地域に向けて発信します。



自分の興味のある研究テーマを深く学ぶことができます

研究内容については、教員の領域の研究をテーマにすることも、自分の興味のあるテーマを希望することもできます。
出願の前に、指導を希望する教員と相談しておくことをお勧めしています。

大学院入試に関するお問い合わせ先

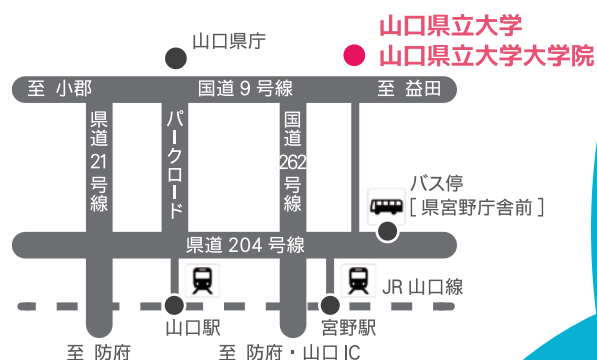
山口県立大学 学生部入試部門

〒753-8502 山口市桜島 6-2-1 (2号館)

TEL:083-929-6503

Email : nyushi@yp4.yamaguchi-pu.ac.jp

山口県立大学へのアクセス



[県宮野庁舎前] バス停下車 徒歩 7 分

JR 山口線 [宮野駅] 下車 徒歩 10 分

2026 年度 入試情報

出願期間

2025 年 10 月 7 日 (火) ~ 10 月 15 日 (水)

試験日

2025 年 10 月 25 日 (土)

* 募集人数、試験科目その他の詳細については
募集要項あるいは大学ウェブサイトをご覧ください。

* 短大卒などの方は、事前審査が受けられますので、
お早めにご相談ください。

* 追加募集がある場合は、
出願期間は 2026 年 2 月 9 日 (月) ~ 2 月 19 日 (木)
試験日は 2026 年 2 月 28 日 (土) となります。